

# あすにいきる

あすにいきる

兵庫県教育委員会



## あすにいきる (改訂版)

平成 9年1月17日 発行

平成24年1月17日 改訂

編集・発行 兵庫県教育委員会

〈お礼〉本教材の作成に当たっては、報道各社、関係自治体、関係者の皆様に多大なご協力をいただきました。中でも、神戸新聞社には、数多くの報道写真、記事の提供、監修等幅広くご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。



# あすにいきる

## もくじ

- 4 かぞくて はなしあおう

---

- 6 災害について知る じしんが おきても あわてない

---

- 10 自分の身は自分で守る じしんの ときの こうどう

---

- 14 公の助けを得る いのちを まもるものを さがしに いこう

---

- 20 災害について知る あっというまにすごいながれ

---

- 24 災害について知る 大地しんがきた

---

- 28 自分の身は自分で守る 「泳ぐ」より「うく」

---

- 32 共に生きる 助け合って生活するために

---

- 36 生き方を考える みんなを見守るプラボン

---

- 40 公の助けを得る 町のぼうさいしせつをさがそう

---

- 48 こころをケアする 悲しい気持ち、こわい気持ち

---

- 52 1.17はわすれない



はんしん あわじ だいしんさい  
阪神・淡路大震災を  
かた 語り継ぐ

- 16 地いきの人にありがとう

---

- 44 宋栗市一宮町につたわる抜山伝説



- 1 いろんな 気持ち

---

- 8 しんそうが とまりそうだった

---

- 9 ぼくの 町が なくなって しまった

---

- 12 とても こわかったよ

---

- 18 わたしの シロ

---

- 22 おばあちゃん これ

---

- 26 ありがとう

---

- 27 ひとつに なった

---

- 30 元気で よかったね

---

- 34 いつまでも わすれない

---

- 38 ぼくの 車いす

---

- 42 おふろに はいったよ

---

- 43 水くみ したよ

---

- 46 ガスの 工事に 来た お兄ちゃん

---

- 47 水が 出た

---

- 56 春が きた



表紙 (題字)  
豊浦未奈都 県立北須磨高等学校 2年

表紙のポスターは「防災力強化県民運動」ポスターコンクールの受賞作品から選出しました。  
<作者一覧> (受賞当時の学年)

南 心	神戸市立御影北小学校	1年	荒木 恵祐	神戸市立住吉小学校	1年
小関 純果	神戸市立原田中学校	2年	畑 知沙	加古川市立陵南中学校	3年
佐藤 孝祐	養父市立養父中学校	3年	栗田ひろみ	県立姫路工業高等学校	2年
花木 紗英	県立姫路工業高等学校	2年	日下部まこ	県立東播磨高等学校	3年











# じしんの ときの こうどう

じしんの ときは、おちついて こうどうしましょう。  
学校でも いえでも まちでも、きほんは おなじです。

## ゆれが きたら あたまを まもる



## ゆれている あいだは むりに うごかない



## ひなんする ときの やくそく



かいだんでは



おさない はしらない

しじが きこえる  
ように



しやべらない

にもつを とりに



もどらない

## あぶない ところから はやく はなれる



(写真提供 神戸新聞社)



# いのちを まもるものを さがしに いこう

どこに <sup>なに</sup>何が あるか、  
よく 知っておこう。



ゆうどうとう



地しんなどの  
さいがいの ときは、  
学校が ひなんじょに  
なるんだよ。



どうして 校しやの <sup>うえ</sup>上に  
プールが あるんだろう？

プール



ソーラーパネル



しょう火き



たいしんほきょう



ひじょうかいだん



ガスもれたん知き



火さいほう知き



しょう火せん



きんきゅうほうそうせつび



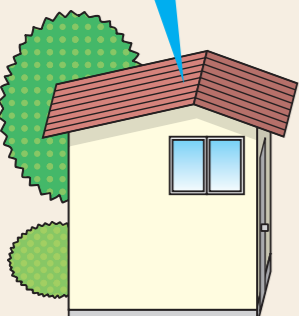
エーイーディー  
AED



ぼう火とびら



びちくそうこ

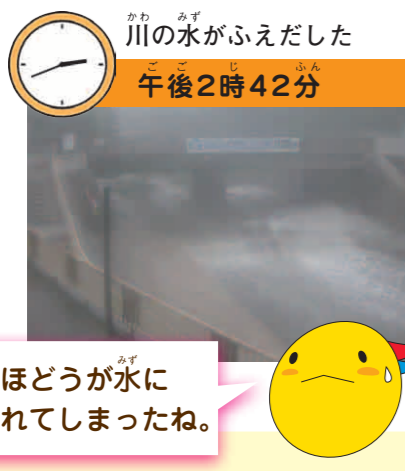




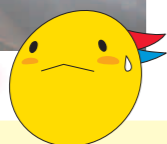
# あっというまにすごいながれ

## きゅうに水がふえる

2008（平成20）年7月28日、大雨がふり、神戸市をながれる「都賀川」の水かさが増え、一気にふえました。



ゆうぼうどうが水にかくれてしまったね。



## きけんぼうしのかんばんや回てんとう



川のきけんを知らせるかんばん



ひなんゆうどうかんばん



大雨を知らせる回てんとう

「しあわせはこぼう」(神戸市教育委員会)を参考に作成



マンホールから水があふれる

こうか下に水がたまる

水がたまっているところには近づかない

橋の下で雨やどりをしない

ぞう水した水はさける

自分のいるところに雨がふっていないなくても、川の水がきゅうにふえることがあるんだね。

黒い雲やかみなりの音が、大雨のサインよ。水べからは、はなれようね。



# おおじ 大地しんがきた

1995 (平成7) 年1月17日午前5時46分、  
 淡路島をしんげんに、大地しんが起きました。当時、  
 だれもけいけんしたことのないような大きなゆれが起き、  
 日本ではじめてしん度7がてきようされました。

## 地しんのゆれと広がり方

地しんが起きると地面がたてや横  
 に大きくゆれます。ゆれ方の強さを  
 「しん度」といい、0から7までの  
 数字で表します。

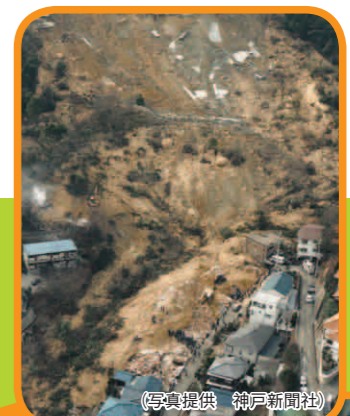
地しんのゆれは、しんげん地から  
 まわりに広がっていきます。



(2006年5月19日阪神・淡路大震災について【確定報】消防庁)



↓ 地すべり (西宮市仁川百合野町)



神戸市の震度計は震度6を記録したが、気象庁が被害状況の現地調査を行い、一部の地域を震度7と認定した。(阪神・淡路大震災の概要 内閣府)

### しん度とゆれ



人がゆれを感じない。

屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。

おき物がたおれることがある。



たなの食きが落ちたり、こ定していない家具がたおれたりする。

こ定していない家具のほとんどがい動し、たおれるものが増える。立っていることがこんなになる。



たいしんせいのひくいいたて物は、かたむくものやたおれるものが増える。







# 助け合って生活するために

ひょうご おおし あと ひとびと ひなんしょで知らないひと  
 兵庫をおそった大地しんの後、人々は、ひなん所で知らない人  
 としようどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 きょうどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 ときょうどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 活を送りました。そんなとき、人々は、やくそくや決まりを守  
 り、おたがいにゆずりあひこうどう  
 り、おたがいにゆずりあひこうどう  
 合って行動しました。その行動を全国や  
 せかいひと  
 世界の人たちがほめたたえました。



はんしん あわじだい  
 阪神・淡路大しんさいのときの  
 ルールは、その後も各地の  
 ひなんしょでも使われているんだよ。



(写真提供 産経新聞社)

## 阪神・淡路大しんさいのひなんしょでのルールれい



しつないひ  
 室内で火を  
 つか  
 使ってはいけません。



だい  
 トイレは大べんのみバケツの  
 みずなが  
 水で流してください。



ほうそう よるじ  
 放送は夜10時で  
 しゅう  
 終了します。



でんき よるじ  
 電気は夜10時に  
 き  
 切ります。



こうない  
 ペットは、校しゃ内に  
 い  
 入れてはいけません。



こうしゃ  
 高れい者、しょうがいのある人へ  
 きくば  
 気配りしてください。





# 穴粟市一宮町につたわる抜山伝説

1976(昭和51)年9月13日、  
台風17号のえいきょうで、穴粟市一宮町はそう雨  
りょうが637mmにもなっていました。  
そのため一宮町福知地区、生栖地区に  
またがる「抜山」の一部が  
山くずれを起こし、  
一家6人が生きうめに  
なりました。



すぐに消ぼうだんや住みんが  
かけつけて、きゅう出作業を  
行い、3人をきゅう出しまし  
た。のこる3人のそうさくを  
ひっ死て行っていました。

ここらはな、  
昔に大きな山くずれが  
あってな、それから  
「抜山」とよばれる  
ようになったんよ。



もっと大きな  
山くずれが  
起こるかも…

きゅう出作業を見守っていた地いきの  
人たちは、昔からこの地区につたわる  
「抜山伝説」のことが、とても気にな  
っていました。

だいじょうぶ  
かな…

おばあちゃんか  
昔「山が抜けた」つ  
て言ってたなあ…

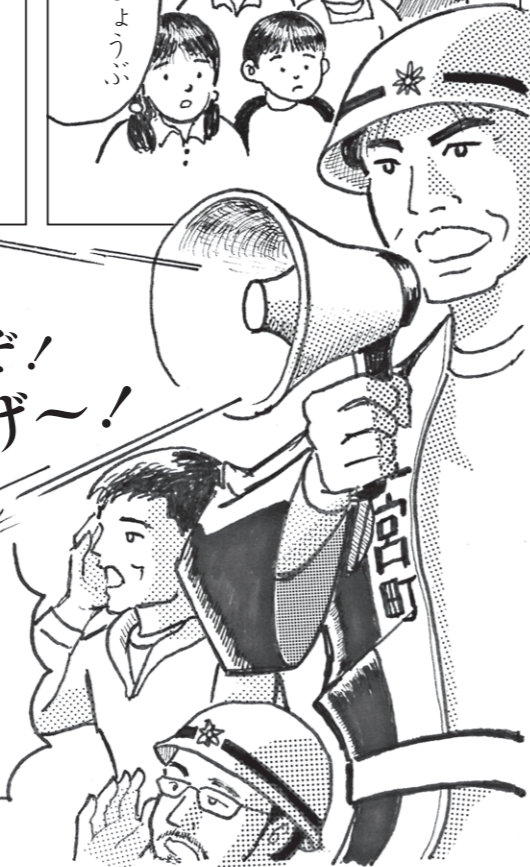


そのとき、山ちよう  
近くの木が数本  
たおれました。

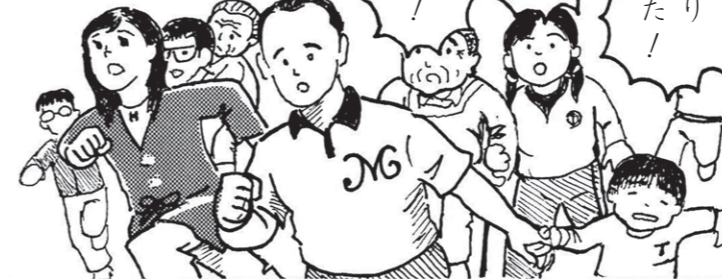


山が  
抜けるぞ！  
はよにげ～！

あぶない！  
にげろ！！



学校のスピーカーからの  
よびかけや、住みんの声  
かけて、みんなはいっせいに  
ひなんしました。



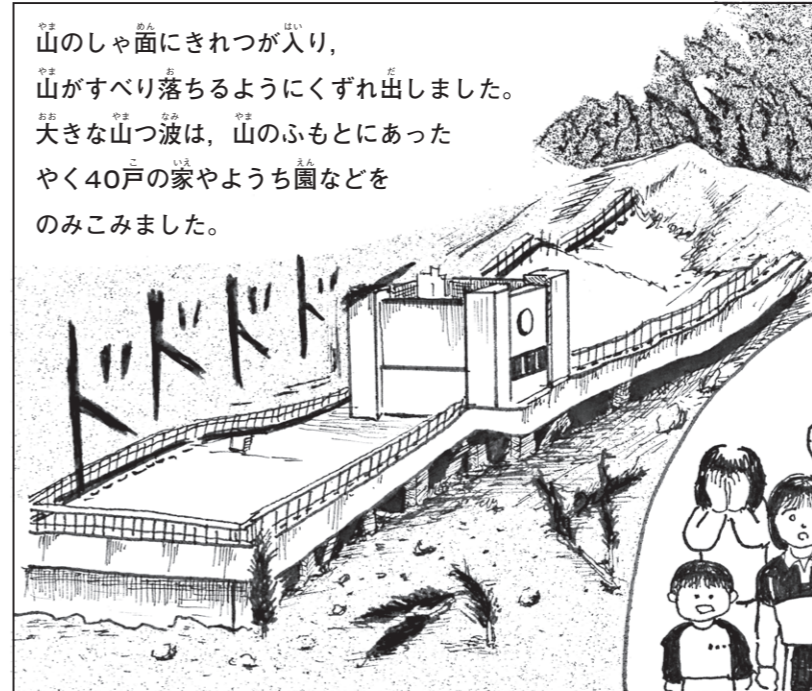
はよにげ！  
いそげ！

やっぱり  
抜けた！

きけんです  
早くにげて下さい！



山のしゃ面にきれつが入り、  
山がすべり落ちるようにくずれ出しました。  
大きな山つ波は、山のふもとにあった  
やく40戸の家やようち園などを  
のみこみました。

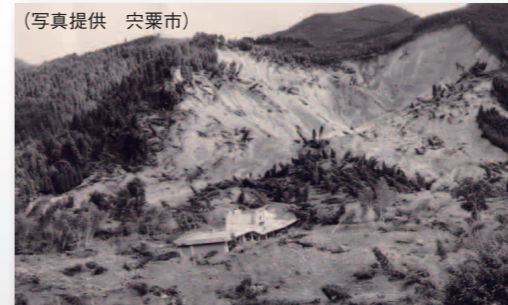


3階だての下三方小学校は  
やく60mほどおし流され、  
校しゃのほとんどが土にうも  
れてしまいました。

あ、あ……



(写真提供 穴粟市)



(写真提供 神戸新聞社)



住みんが抜山伝説を知っていたことが  
命を守りました。  
下三方小学校では今でも山つ波集會を  
開き、伝説を語りついでいます。

↑ 1976年9月14日 神戸新聞



かな きも 悲しい気持ち, こわい気持ち



ねむれない



おもいだしてつらい



かな なに 悲しくて何もしたくない



あたま 頭やおなか いたくなる



いらいらする

これはだれにでも起こる、  
お 自ぜんなことなんだよ。





# こうするとリラックスできるよ



1 手をぎゅっくにぎって!



2 ふわっと力をぬく!



3 手をぎゅっくにぎってかたをぐっと上げて!



4 ふわっと力をぬく!



5 手をぎゅっくにぎって、かたもぐっと上げて、顔を鼻の中心にぐっとよせて



6 ふわっと力をぬく!

おお 大きく息をすって、はくだけでも、気持ちと体が楽になるね。



# だれかに話をしてみよう



ともだちに話をしてみよう



おうちの人に話をしてみよう



先生に話をしてみよう



話をすると、気持ちが軽くなるね。